

平成28年度 南魚沼郡市生徒指導部 活動報告

部長 中沢 功

1 研究主題

保護者・地域との連携を図る生徒指導の在り方

2 研究の概要

- (1) 学校と保護者・地域との情報連携・行動連携の進め方について、小中学校間の協議、小・中学校同士の協議、そして関係諸機関との情報交換を通して明らかにする。
- (2) 小中合同の研究組織を立ち上げ連携した研究を進めるとともに、学校警察連絡協議会とも連携しながら取組を進め、研究推進に生かす。

3 研究の実際

- 4月28日(木) 学校警察連絡協議会所属長会議
- 5月2日(月) 第1回南魚沼郡市教育振興会小・中学校生徒指導部会
- 6月16日(木) 第1回学校警察連絡協議会担当会議
- 8月19日(金) 第2回南魚沼郡市教育振興会小・中学校生徒指導部会
- 8月(夏季休業中) 中学校区生徒指導部会(いじめ見逃しゼロスクール集会打合せ)
- 11月25日(金) 第2回学校警察連絡協議会担当会議、生徒指導研修会

4 成果と課題

(1) 成果

各部会での研修会や情報交換、協議等を通して、学校・保護者・地域が連携していくための手だてについて明らかにすることができた。

① 小・中学校生徒指導部会

中学校区毎の事情や環境は異なっても、生活指導主任・生徒指導主事が中核となって校内組織を生かし、全校体制で児童生徒への指導支援、家庭・保護者に対応することが問題解決と信頼関係の向上につながる。また、地域や外部機関との連携においても、窓口となる主任・主事の役割が重要である。

② 生徒指導研修会

南魚沼市教育委員会スクールソーシャルワーカーの講話を拝聴し、子どもたちの問題行動の背景と解決に向けて取り組むべき内容を学ぶことができた。「困った子」ではなく「困っている子」としてとらえ、その子の家庭が抱える問題をジェノグラム(家族関係図)をもとに考えることで支援の内容を具体的に検討することができるということを教えていただいた。



【生徒指導研修会の様子】

子ども本人だけの問題とせず、その背景にあるものをしっかりと把握し、関係機関と連携して支援していくことの重要性を改めて感じることができた。

(2) 今後の課題

研修会の実施や中学校区内及び学校間・校種間の情報交換を重視することにより、児童生徒への指導支援、保護者・地域とのよりよい連携の手だてについて学び合うことができた。保護者・地域との連携をよりよく進め問題解決を図るために、情報共有を重視した連携と各学校主任・主事のさらなる資質・指導力向上が必要である。